

□議員名：山田伸幸

## 1 宇宙監視レーダーについて

|    |  |
|----|--|
| 論点 | 宇宙監視レーダーの試験照射は9月議会の際に7月に実施された試験では、レーダー出力が明かされないまま実施されたが、そのようなやり方で問題なく行われたと言えるのか。 |
| 回答 | レーダーについての出力などは防衛機密に当たるので公開されない。  |

|    |  |
|----|--|
| 論点 | 再試験の際には立会いを求めている市民団体も立会いできるように要請して貰いたい。また、実際に運用されたあと、市民の安全が脅かされることはないのか。                         |
| 回答 | レーダー電磁波の実測試験に市民団体の方々が立会いできるように要請する。有事において、相手の意図や対応が異なるために施設が攻撃目標となるかについて答えることは困難であると防衛省から回答があった。 |

|    |  |
|----|--|
| 論点 | 埴生の施設が軍事目的であることは明らかで防衛通信衛星の防御に欠かせないものとなっている。改めてこの施設についての住民説明会開催を求めているかどうか。 |
| 回答 | 必要があればそのようなことについては防衛省側に要請する。   |

## 2 高齢化と地域交通政策について

|    |   |
|----|---|
| 論点 | 高齢化が進む中、日常生活の維持や要介護状態を進行させないために市はどのように対応しようとしているのか。高齢者が地域で生活するにあたり、どのような問題点があり、どのように対処しているのか。 |
| 回答 | 高齢者の実態調査については、アンケート調査や窓口に来られた際の聞き取り、あるいは職員の訪問したときに直に聞いており、実態として重要な課題の一つとして認識している。             |

|    |                                |
|----|--------------------------------|
| 論点 | 高齢者が出かける際に困難を伴い、バス便が通っていても重い買物 |
|----|--------------------------------|

|    |  |
|----|--|
|    | 荷物などがあれば苦勞している。行きはバスで帰りはタクシーを利用している人が多くいるが、金銭的負担が多いしタクシー運転手の確保も重要な課題となっているのではないのか。 |
| 回答 | タクシー運転手については、一時期の減少から少し盛り返してきている。  |

|    |  |
|----|--|
| 論点 | しかし、運転手の高齢化や労働環境の問題から不足の実態が変わらずにある。ここは市がタクシー運転手を目指す人に対して補助するなどして第2種免許の取得を支援してはどうか。 |
| 回答 | 担当課としては要望しているが市全体の財政状況から事業として選択から漏れている。  |

### 3 Aスクエアを中心とするまちづくりについて

|    |                                  |
|----|----------------------------------|
| 論点 | 現在のまちづくりの取組状況はどうなっているのか。         |
| 回答 | 今後の事業計画については合同会社においてまとめられるものである。 |

|    |   |
|----|---|
| 論点 | 理科大の寮については、学生の要望に添った運営となっているか。具体的な料金設定や住環境はどうか。一部に寮となっても他大学であるような賄い付きではなく、割高との指摘はどうか。 |
| 回答 | 建てられたのが民間事業者であり答弁は差し控える。  |

|    |   |
|----|---|
| 論点 | L A B V事業の要の計画でもある地域の発展についての取組はどうか。                 |
| 回答 | この事業は全国から高い注目を集めている。にぎわいの創出は大事なものであり、成功事例をつくっていきたい。 |